

# ケアセンターけやき 訪問看護ステーション

江口俊秀(理学療法士)

**功 績** 新型コロナウイルス流行以降、自宅に引きこもっていたご利用者に対して、ご家族の協力を得ながら、90歳にしてユーチューバーデビューさせるなど、生きる意欲を引き出すことに成功した。またそれを通して遠方のご家族と心の交流を図れるようになりご家族から信頼と感謝を得られた。

**推 薦 者** 井本哲吉

**推 薦 理 由** 引きこもりの生活を送っていたご利用者に、「その方の可能性を最大限引き出す。悔いのない楽しい人生を送ってほしい」と粘り強く関わり、遂に生きる意欲を引き出し、ご利用者・ご家族の生活を豊かにしたことは理事長賞に値すると思われるので推薦致します。

## 内 容

利用者さんは元々他事業所のリハビリデイサービスを利用していましたが、喘息発作の既往と、天候により体に変調をきたしやすい体質であり当日キャンセルが続く等休みがちでした。また新型コロナウイルス流行と転倒事故により、訪問リハビリさえ拒否がちになり、無気力と意欲低下が顕著な利用者さんは廃用による寝たきりの危機に陥りました。そのような中、リハビリの担当になった江口氏 (PT) はどうにかして生きる気力を取り戻してほしいと、利用者さんと粘り強く関わっていき、その中で、少しずつ本音を打ち明けてくれるようになりました。かつて華道に打ち込まれ、お弟子さんも多数輩出されたこと、本当は昔のように銀座に出て行ったり、お華や組み紐を教えたりしたいこと、でもご家族には迷惑はかけたくないことなど。

既にお華の教室は閉鎖し、お弟子さん達とも長年離れており、何よりもご自身が生け花を暫くしていない中で、人とつながりたい、けれども外に出たり人を呼んでの生け花は、コロナ禍の当時実現不可能でした。江口PTは、まだ手指は動き、生け花造りの感覚も鈍っていなかったことを確認し、お孫様が仕事で利用しているx (旧ツイッター) の投稿を介してユーチューブにアップロードしてみてもどうか?そうすれば世の中と繋がれる、と本人と長女に提案。同居の長女及び他県でデザイン系の仕事をしている孫娘も快く協力していただき、令和5年4月より配信開始。まず、長女が季節の花を用意 それをご本人が活ける その様子を江口PTが動画撮影 撮影した動画を孫娘に送信。ユーチューブとしてアップロード、タイトル名「〇子の部屋」。当初は閲覧一桁が続いていましたが、ほぼ毎週新作を配信し続けているうちに2024年8月現時点で1000の閲覧を越え、コメントも見られる様になりました。そして華を活ける利用者さんはとても生き生きとされています。

最後に、お孫様の言葉を紹介させていただきます。「生け花造りを通して祖母との交流が活発になりました。遠方に離れていてもユーチューブを通して生き生きしている祖母を感じられます。リハビリの枠を超えてお花を通して元気にして下さっているリハビリの江口さんにはいつも大変感謝しています。」